

2024/4/8

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(4月1日～4月5日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,344.0	1,356.0	1,342.5	1,352.8	+5.6
JPY/KRW	8.8836	8.9614	8.8704	8.9435	+0.046
KOSPI	2,766.24	2,769.87	2,705.31	2,714.21	▲32.42

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初 1,344.0 ウォンでオープン後、前週末にパウエル FRB 議長が利下げを急がない姿勢を示したことでドル買いが進んだ。翌 2 日もオープン直後 1,356.0 ウォンまで上昇し、年初来高値を更新。しかし、上昇一服後は当局による為替介入への警戒や輸出企業の実需フローが重しとなり徐々に上値を切り下げる推移となった。4 日は米利下げ開始時期の後退懸念や週末の雇用統計を控えた警戒感から再び底堅い推移。5 日はイスラエルとイランの間での緊張の高まりから、リスク回避的なドル買いが強まり、再び 1,350 ウォン台を回復。結局、前週末比+5.6 ウォンの 1,352.8 ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは1,350ウォン付近を中心に底堅い推移の継続を予想。先週末の米3月雇用統計は堅調な内容に。雇用は力強い伸びを見せるも、賃金の上昇ペースは緩やかなものであり、市場の6月利下げ開始期待は後退。米長期金利は4.4%付近まで上昇した。今週は10日に米CPIやPPIなどの経済指標発表があり、インフレ動向を見極める上で注視されよう。米利下げ開始時期の後退が意識される内容となればドル/ウォンは再び年初来高値を更新して推移する展開も。また、10日には韓国総選挙が予定される。為替市場への影響は限定的と予想されるも動向には注意したい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1335 ~ 1360	8.75 ~ 9.05	150.0 ~ 153.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 8日(月) 日 2月 国際収支
- 10日(水) 米 3月 CPI
米 FOMC議事録
- 11日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数
米 3月 PPI
欧 ECB 政策金利発表
中 3月 PPI
中 3月 CPI
- 12日(金) 日 2月 鉱工業指数 確報値
米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
韓 3月 失業率
韓 BOK 政策金利発表
中 3月 貿易収支